

百合りあんと。百合風俗体験記



百合りあんと。百合風俗体験記
みによって 綾川ちゆき

2019年12月8日 発行

はじめに

はじめまして、元セクシーネット声優の綾川ちゆきです。セクシーネット声優というのは、セクシー女優さんのネット声優版です。ネット声優っていうのが、素人の声優真似っこみたいなことをやってる人のことで、私はその中でもニッチな「実演音声」というものに主に出演している人でした。

実演音声というのが、オナニーやセックスしている様子をありのまま収録してそれを作品として出す同人作品です。まあ簡単にいうと、とにかくすけべな声を出すお姉ちゃんしてました。

現在は、結婚を機にセクシーネット声優を引退し、セクシーネット声優のプロデュースや、実演音声サークルさんにアドバイスをする人をしてます。

実は私、セックスの経験が割と少ないです。26歳まで処女だったので、えーといまアラサーなので。はい、分かります？ 彼氏いない歴〓年齢だった上に女子校出身だったので、本当にセックスの経験が片手で足りるんです。AVとか見てるだけやと、わからんことってあるじゃないですか。女性の肉体について、味、匂い、触り心地。そういうのをリアルに知りたいなーと思ったんです。

ああ、そもそもなんで女体について知りたいかと言いますと、レズセックスものの作品を収録したことがあります。経験不足から、楽しきれない部分があったんです。

「これでいいのかな？ 大丈夫かな??」

ってビビりまくっておりました。そんなこんなで、もつとセックスをがつつり楽しみたい!!
と思ってたんですね。

でも、結婚したので男性とするわけにいかないじゃないですか。妊娠とかしても困るし。そもそも私、女体が好きなんですよ。

なので」

そうだ、レズ風俗に行こう！」

ってなりました。なんでやねん

レズ風俗に行くことは、相方に言っていないですが

「女同士なら浮気じゃないよね?!」

という問いに対して

「ええw」

と冷笑をいただいてますのでOKと受け取りました。チキンでヘタレなくせに、妙に行動派。

綾川ちゆきという一般女子の、大阪や東京のレズビアン風俗に行ってきたレポをお楽しみいただけると嬉しいです。

2019年12月8日 綾川ちゆき

目次

はじめに

2

レズビアン風俗行ってみたレポ01ライラ様

5

レズビアン風俗行ってみたレポ02ナナさん01

12

レズビアン風俗行ってみたレポ03ナナさん02

26

おわりに

37

セクシーネット声優プロデューサー活動について

39

セクシーネット声優募集

40

特典やおまけなど

43

レズビアン向け風俗行ってみたレポ ライラ様

私が行ったのは、ビアン向け風俗。入ったのは ライラ様、120分私はプレイルームに行く形にさしてもらった。ライラ様を選んだ理由について話そう。実は、自分には絶対に出不せない「アニメ声」というものに強烈な憧れを持っている私。

「アニメ声の女の子いますか？」

というアホな質問を「DM」でお店に問い合わせる。

「当店ではアニメ声の女の子は在籍しておりません」

というとてもまともな回答があったため、

「このお店、できる……！」と思った。

ええ、私ちよろいんです。

アニメ声の女の子に会いたかったなあ、と思うが、居ないものは仕方がないので、その次の質問で「テクニシャンな子いますか？」

と聞いたところライラ様と、もう一人が挙げられた。

もう一人も気になったのだが、ツイッターの写真やプロフィール写真、ツイッターでの口調DMでの口調などを読みまくって

「こっちの人の方が、きっと気いキツくないはず！」

という完璧にヘタレな理由で、問い合わせした。

だって、お金払ってまで気の強そうな人とプレイするのやだもん、と思った末ライラ様に決定。

とおもった末ライラ様に決定。男の人もこうやって幸せな迷いを繰り返しているんやろうなあ…と思うと、感慨深かった。

暑くもなく寒くもない、ちょうどいい季節。昼間に、ライラ様を指名。出勤日の最初の時間を指定。お仕事が続いて最後の方だと、私ならしんどいので。でもその日ライラ様は予約満了だったらしく…最初から舌を酷使させてしまっただけだった…。

数往復ツイッターのDMでやり取り。文章の感じも絵文字の使い方なども、言葉というか、話が通じ合いそうな雰囲気。話が噛み合わない人相手だと、話しててしんどい場合もあるので…

何より、スタイルがいいのが写真から伝わってくる。前日まではめっちゃわくわくしてDMなどで「こんなことしたい」とか送っていました。

確か「後ろからぎゅっと抱きしめて欲しい」とか「大切に扱って欲しい」とか書いた気がする。なんだか恥ずかしい。当日。昼 13 時からの予約なのに朝 10 時から最寄り駅へ。き、キモすぎる。なぜかって？遅刻ぐせが最近ひどくて、レズ風俗にも遅れそうな予感がしたからさ！

それにしても三時間前って。なかなかの童貞感。ちゅきっていつまでたっても童貞だよー。

カフェでコーヒーを飲みながら心を落ち着かせようと試みる。が、落ち着かない。手の先、足の先がとんでもなく冷たい。「帰りたい」と心から思った。

でも当日キャンセルとかは絶対にしなくなかったんで、なんとかこらえる。食べ物や喉を通らない。というか、味がしない。だからだとカフェで過ごしてとうとう時間になった。電話でプレイルームに案内される。なんだか受付のお姉さんが標準語なので「ちょっと冷たそうで怖いなあ」

マイナス思考が発動。暗い気持ちで普通の、オートロックのマンションへ。

マンションの一室がプレイルームだった。綺麗なマンションで素敵だった。迎えてくれたのは、写真より、美しい、涼しげな巨元のライラ様でした。くびれがものすごいし、身体が細い。同じ女と思えない。色は白いし、肌はツヤつとしていて、どこにも粗が見当たらない。いい香りがしそうなお顔立ちをしてらっしゃる。

「あ、無理。もう帰りたい。無理、こんな綺麗な人無理。」

と思いながらも、ベッドに座る。ウォーターサーバーから注いでくれた水を一気飲みする。

もうこの時点で喉かつらから！！　まずはすこしおしゃべりしてから、歯磨き。着けている下着も似合いすぎてもう！　女性に人気のブランドの、繊細なコードのついた、ラベンダーカラーの美しい下着。その似合うことといたたら。下着のモデルもできそうなナイスバディである。Dカップくらいで、くびれがキュツとしていて、お尻も滑らかで。細いけれど、ガリガリじゃない、程よい肉付き。いい。すごくいい。

そして、シャワー。バスルームが狭い。でも、それってくつつけるってこと！　ふふふ！　ていうか、ライラ様！　おっぱい美しすぎる！　離れてないし上向きだし、なんだももうー！　私の裸なんか見ないでくれえええ！！！！　とパニックを起こしかける。

「ひいひい！！　帰りたい！！　帰りたい！！　綺麗すぎて無理！」

ってなりながら、お風呂で洗いつこした。おっぱいも柔らかい。おしりも柔らかい。柔らかいけど、弾力もしっかりしたおっぱいで、私のおっぱいに密着し、擦り付け合いながら身体を洗ってくれるのが良かった。温かい感覚。そして、ふわふわぶにぶにで、幸せな感触すぎた。

「せめられるのが好き？」とかシャワーで聞かれたのでブンブンうなずいた。攻めるの苦手です。どうしていいのか、わからないですー。はい、出ました、童貞丸出し。お風呂から出て、ベッドに着席。

お風呂で気がついただけで、うなじが刈り上げというギャップ。だんだん顔が近づいてきて、目を閉じて、キス。だんだんと、深くなっていく。あ、口の中、ふわっとタバコの味がする。正直タバコは嫌い。でもライラ様が吸ってるのは、嫌じゃないむしろなんかイイ。

水音が、部屋に響く。柔らかい唇を味わう。

舌同士をからみ合わせていると、舌先にに丸っこい物が当たると、違和感。ライラ様の舌の真ん中にピアスが。蛇にピアスを思い出す。吉高由●子ちゃん可愛いよね。ちょっとライラ様も、あんな感じの目元かも。刈り上げに、舌ピアス。写真や文章だけではわからなかった、ギャップのある姿に、萌えた。

ライラ様、本当にほんとうに女性らしい身体で、しなやかで、もう、たまらんかった。なのに、なのにやで？なんなのその責め慣れ感ってなる。多分年下だけど、リードしてくれる頼れる感じが「お姉様」って感じ。

後ろから抱きしめられておっぱいを揉みこまれる。私がリクエストした、後ろからのハグ。そして、ライラ様の得意技でもある後ろからのハグ。細身の身体なのに、柔らかくて、背中が幸せな感触に悦んでいる。

前に回ってきて、舌と指で乳首を擦られた。腰がびくびくと後退してしまう。

「びくびくしてるね」

こ、言葉責めサー（。▽。）—— コミュ障害童貞気味なちゆきは、ただただブンブン首を縦に振るしかない！乳首をしばらくちゅばちゅばされて、全裸の、足の付け根が湿り気を帯びてきた。いや、多分シャワー前からショーツが糸を引いていたようにも思う。で、シャワーで一旦流れた物が、また溢れてきているのだ。

我ながらいやらしい身体をしている、ああ、エロい。エロいよう。エロって、素晴らしい。完璧な癒やし。

ライラ様、脇腹を撫でさすったり、乳首以外のところも、しっかり愛でくれるような手つきで、触ってくれる。

下の方にキスをしながら、ライラ様の頭が足の付け根に向かっていく。下のお口とご対面。ブラジリアンワックス

脱毛で、数日前に脱毛をしてきたところ。ツルツルに近いと思う。

アソコに軽くキス、からのクンニ。えつちな割れ目の上にある、蕾を舌で押しつぶされ、ねぶられる。女の子の舌ってやー……うーらかいのね……！ 男の人のクンニと段違いで気持ちいい。ちろちろ、くちゅくちゅと音を立てて舐められる。吐息が当たる。落ち着いた呼吸だけど、敏感な突起には、好い刺激になる。熱い舌の感触が、クリトリスに伝わってきて余計に快感が高まってくる。

「あ、んっ……ライラさ……ッあ」

うわずった声が出てしまい、恥ずかしくなる。

しばらくクンニだけしていたが、十分に潤ってきた私のアソコに、つぶりと指を一本入れられる。中に馴染むまで、そつと動かす。激しい出し入れは、まだ早い。

ちゃんと、中の肉壁を隅々まで探って、好いところを探してくれる。男では、そんなんしてくれる人いないんじゃない？ てくらの、繊細な指の動き。中で蠢く指の感覚は、痛みがなくて、心地よい。

やっぱ女同士って細かいとこの感覚が分かり合えるのが、いいよね。指を硬くして出し入れしたら痛いーとか。そういうった細かいところが、ポイントなんですよ男性諸君！ はあ。思い出すだけで、ショーツが湿ってくる勢い。そつからは、ずつとライラ様のターン。確かに私攻められるの好きやけど、おっぱいもうちよつと揉ませてもらえば良かったなーと書いてる今は思ってる。

そうそう、最初にも書いたけど、120分コースで予約したのね？ そのうち30分が身支度やシャワーの時間。んで、90分ほとんどずつと、指入れしながらのクンニ。「やばくね？ その舌どうなってるの？」てなった。すぐく疲れそう。私ならできない。すごい。プロのクンニすごい。

もーずつとずつと気持ちよくて、でも、なんか、イケない。最近おもちゃばつか使ってたからかねえ、イケないこ

とこの上ない。じわじわと快感が、高まり。もっと、高まり。さらに高まり。

でも、何故かいけない。「もうイケなくてもいいや、気持ちいいから」と諦めかけた直後。クリトリスに全神経が集中したみたいになつて、

「あッ、それ……だめ、むりっ……ッ！」

と一気に駆け上がるようにして、絶頂。いったのがわかつてるはずなのに、続くクンニ。

「あつ、だめえ……ッ、む、無理……！ もう……」

ってなる。でも止める言葉が出ない。さらに気持ちよくなれそうな予感があつて。快感に抗えない。もっともっとと、欲しがってしまう。

中も外も、強すぎない絶妙な強さで、攻められ続けて、腰も膣もビクビクしまくり。「中イキしたことないんよー」という話を事前にしていたこともあつてか、激しく中で指が蠢く。でも全然痛くない。

「これこそがテクニシャン！」というワードが脳内を駆け巡る。

「あっあ、ああ……んッ、やあんっ……だめっ、なんか……なんかあッ！」

子宮の入り口が揺さぶられて、快感が口から溢れ出てしまっているような、大きな声が出続けてしまう。淫靡な世界が身体中に広がっているのに、中イキがどうしても分からない。届きそうなのに、そこに達することができない。

「ごめん、めちゃくちゃ気持ちいいねんけど、どうしたらいいかわからんねん」

とライラ様に告げると、クンニ＆指入れをゆっくり終了。

抜くときも、「ひゃあんっ！」て、恥ずかしい声で喘いでしまった。携帯で、時間を確認するライラ様。

「3分くらいでシャワーだよ。」

と教えてくださった。なんで残り時間が少ないとわかったんだらう。時計とか見てなかったはずなのに凄いい。

足ガツクガクでおなかぺっこで、のどからからでシャワーへ。最初のシャワーのときと同様に、身体を密着させながら、丁寧に洗ってくれた。さすがに擦られすぎたのか、アソコに石鹸が染みる。性病じゃないぞ。断じて違うぞ。男の人だってオナニーしすぎたらおちんちんヒリヒリするでしょ？あれと一緒にすからね。

下着を着用するときのゆっくりとした動作も、神々しいくらい美しい。女体って素晴らしい。まあそんな感じでプレイが終わって。最後にキスして、ハグしてから、プレイルームを後にした。控えめにゆうて天国だった。これで、私の初のレズビアンむけ風俗レポは終わり。

思い出ただけで喉カラカラになる。案の定というか、潮をすぐ吹いてて、シートが、三十センチくらいの丸いシミになって、「お掃除大変ですよね、ごめんなさい！」ってなった。あー、もっぺんいきたい。ていうかライラ様に会いたい。女神。

男の人は、こんないい気分を味わっていたのか！ たしかに大人のネズミーランド！

レズビアン向け風俗に行ってきたレポ ナナさん

まだ肌寒い春の日、ある駅のカフェに着いた。朝9時。

手が冷たい。予約は2週間前に、メールフォームから行った。

「いい子いいこしてほしい」

「ギュって抱きしめてほしい」

「イかなくてもいいから、イチヤイチヤできたらいい」

というようなメッセージを彼女に書いた。

彼女、レズビアン向け風俗嬢のナナさん（仮名）からメッセージがくる。

「あの本読んでくれた？ 私はこの1週間くらいで数十冊読んだよ」

とか

「いっぱいギュってしてあげるね」

というような内容。

私は、そのメッセージを見て、気持ち悪いニヤニヤした微笑みを浮かべていたに違いない。ほんと、ドキドキが止まらない。ノートに、待っている間の気持ちをメモしていた。

怖そうな人だったらどうしよう。今回ブラジリアンワックス脱毛が受けなくて下の毛がボーボーなのだ。毛の処理が全体的に甘いのも気になる。鼻毛の処理も甘かった気がしてきた。

私はチキンハートなので私の剛毛を見て「うわっ」て顔されたらどうしようとか、していない時、ちゃんと話が弾むだろうか、とか、些細なことが気になって仕方がない。

生理が始まってなくてよかったけど、あそこ用のソープ忘れたから、におつたらどうしよう。

歯磨きもそこそこに、緊張しまくって、早めに来てしまった。それに今、ブラックコーヒーを飲んでいる。タバコは吸わないが、口臭くなってるそう。念入りに歯磨きしなくちゃ。

リピしたくなるような女の子だったらいいな。次はもつとこんなことしたい！ あんなことしたい！ って思えるような人だったらいいな。

未来のことにまで考えがぶつ飛びまくっていた。しまいには、ナナさんが次の予約もあるみたいだから、疲れすぎしてしまわないか、とかも、気になり始めてしまっていた。

怖い、でも大切にされたい。ただただひたすら大切にされたい。今の生活に満足していない、ってわけではないのだけれど。

大きい方がしたくなってきた。やばい、ホテルに入ってからするなんて嫌だ。朝一の大きいものの神様、空気を読んでこのカフェで来てくれたらとても嬉しい。来るなら早くきて。

ナナさんに質問したいことをまとめておこう、とも思い書き出していく。

お勤めの女の子は誰？

年上で、落ち着いていて、優しそうな人は誰？

早い時間にお客さん入った時って、何時に出勤するの？

お勤めの漫画はある？

メモしながら、ユーチューブを見ているのだが、全然頭に入ってこない。「この人は何を言っているんだろう」状態。ちなみにこれらの質問は、緊張のあまり、ほとんどできなかったことをここに記しておこう。

手が冷たい。足が冷たい。風呂に入りたい。

腰痛くて湿布貼ってたんやった。いつ湿布外そう。わー思い出すと腰がだんだん痛くなってきた。やばい。

そんなこんなで時間が来た。ナナさんとご対面が迫る。多分、あそこにいるほっそい人そうやるな。背が高いイメージだったけど、私より少し高いくらいやな。よし。怖くない。怖くないぞ。

声をかけるのが怖くて携帯を見るふりをする。ナナさんが、振り向いてこっちに歩いてくる。

「ちいちゃん？」

「あ、は、はいそうです」

この童貞感！ やっべーめっちゃ顔綺麗。あと結構車通が多いところからナナさんが、何喋ってるかわからん。結構早口やし、やっべえぞ。

語調がちよっとキツイ感じする。え、やだ、綺麗すぎて怖い。この人とエロいことするの？まじで？つらいー怖い！と緊張のあまりプチパニックになる。

さあ。どうしよう。無事に出会えたという報告の電話を、お店に入れるナナさん。濃いめのピンクでスウェードのようなスカート。黒のダウンを着てるのにそれでも分かる細い体。

私ナナさんに「おっぱいでばふふーってしてほしい」ってメッセージ書いたな。なんで、おっぱいでかい、と決めたかかってたんだらう。不思議すぎる。いや、ブログを読んで、知的で素敵なお姉さんだと思ったからプロフィールそこまで見てなかったんだ。アホか私。

最近何の本読んだ？私最近60冊本読んだよ。など、ナナさんの話が進む。私は

「へえ」

「すごい」

「そうなんやあ」

くらいしか発せない。ずんずん歩くナナさん。

ホテルに入ってから

「歩くの早くなかった？」

と言われる。

「う、うん大丈夫」

私のチキン！！！！！！全然大丈夫じゃねえよ！

腰にずんずんきてるよ！！！！！！

ばか！！！！

自分

をさらけ出すなんて程遠いよばか！！！！

綺麗系ホテルか可愛い系ホテルか聞かれて、なぜだかわからないが、すぐ答えなきゃ！と焦った私は綺麗系ホテルを選んだ。本当に本当に緊張していたのだ。

「段差気をつけてね」

といちいち教えてくれる。ありがたい。よろよろ系女子腰痛持ちなので今日こけたら腰が終わる。

ホテルに入る。ホテル代は概ね5000円ほど。プレイ代金は2万ちょと。領収書をもらうのが割と恥ずかしい。でも女の子からもらうしか手立てがないので仕方がない。領収書にはデカデカとお店の名前。はー、とうとう経費で風俗という、ゲスな会社員みたいなことになってしまうや。

なんでナナさんを選んだのかという話になった。

「ブログ読んでたら、この人頭いいな〜って思ってた」

と私が軽はずみに「頭いい」というと

「頭いいってどういう意味合いで？」

と、ナナさんは被せるように深い質問をしてくる。うつ、この人怖い。しどろもどろになる。頭の良すぎる人は苦

手だ。

というか頭の回転が早すぎる人は苦手だ。自分も回転数を上げないといけない気がするから。プレイ楽しめるか本当に不安。怖い。

「どこがどう気持ちいいのか具体的に説明して」

とか言っつきかねないぞナナさん。

ルームサービスのドリンクを頼んでくれる。そうよね、のど渇くもんね。この雑談しながら、ガチガチのまま服を着て喋っている時間が一番つらかった。

ナナさんの手はとても温かかった。

「冷え性なのに、手は温いんよ」

「あ、レビューで見ました、体温高いつて書いてあった」

「レビュー読んでくれたんやね」

うっ、レビューを隅から隅まで読んでいるキモオタと思われるかもしれない。

「いや、2、3記事読んだだけ、なんですけど…」

返しがキモオタのそれである。

風呂の温度、熱いのとぬるめとどちらがいいか聞いてくれる。えっ。90分のプレイ時間でもお風呂入らしてくれんの?! すげーな! あ、でもプレイ時間減るな。まー寒いし緊張でガチガチやからお風呂熱めで!! と伝える。

お風呂がたまったので、一旦ガウンに着替える。服を脱ぐとさらに細い。やばい。背中めっちゃ綺麗背骨のくぼみと、滑らかな筋肉が背中に美しいラインを作っている。ピンクの上下揃った下着。おっぱいは控えめ。でも、細い体型に合っていて、ツンと上向きで、バランスがいい。本当に美しい体。

それから歯磨き。歯磨きの袋を開けてくれる。開けてから、取り出すのは私がしてもいいんだろうか。よくわからないから、取り出して歯磨き粉をつけ始める。

「あ、歯磨き粉つけた？」

と言われてから

「歯磨き粉はつけてくれるタイプだったのか！」

と思う。ごめんよナナさん。ペースを乱してしまっただんじやないだろうか。（ごんだけヤワな人だと思ってるんだろう）お風呂に入ると、シャワーをかけてくれる。そして体を洗ってくれるのだが、そんなにソフトで大丈夫？？ってくらい、泡をつけてこしょこしょってされる。くすぐりたい。

三日風呂に入っていないとかだったら、どうするんだナナさん！

「しつかり洗ってくれたまえ！！！」

とも言えないヘタレ。

でも流石に下の方が臭かったらやだから

「下はもうちよつと洗わせてー」

って言う。

またを開いておっさんのように洗う。あああ、あそこ舐めてもらうために必死って思われたら嫌！！でも舐めて欲しいやん！！！！！！

恥ずかしい。こんな細い人と小太りが一緒にお風呂はいるなんて公開処刑気分だ。いや、非公開処刑か。湯船に先に入ったナナさんが次に入った私を後ろから抱きしめてくれる。あたたかい感触が背中を包む。

「お肌白いね」

とか言ってくれるのだけど、褒められるとどうしていいかわからないので

「えへへ」

と笑っておく。ご、ごめん。褒められ慣れてないんだ。心は童貞だから！

後ろから肩にキスをしてくれる。ちゅ、ちゅつ、と音を立ててキス。お風呂からエッチなことは始まっているのか。お湯を、お湯から出てしまってる肩とかにチャプチャプと、かけ続けてくれるそれもゆっくりとした動きで、エロティック。

「どんな女の子がタイプ？」

耳元で後ろから囁かれる。

「ええ、と、優しい人？」

と、戸惑いながら返事した。

「ええー結構ストライクゾーン広いね

フェムが好きとかそう言うのは？」

「あつ。じゃあフェミニンな人の方が」

そういう意味か、と自分のアホさにしよんぼりする。

「そうやんね、女の子とせつかくするんだからね」

とにかくドギマギしすぎて、頭の回転のゆっくりさがバレバレである。

普段私は早口で喋ると嘯みまくるのでゆっくり喋るタイプなのだが

緊張と、頭の回転早い人と一緒にいるから、という遠慮からめっちゃ早口になっていた。

つい

「めっちゃ緊張する〜」

と言ってしまう。

「えーそう見えない」

と言ってくれる。

「もしかして、頑張って喋ってくれてるの？」

「そうだよ！もう普段の三倍くらい頭働いてるよ！　つらいよ！！　癒されたいよ！！」

タオルをお風呂場に持ってきてきてくれて拭いてくれる。これもまたソフト。ふわふわと水分を肌から取り除いてくれる。

女の子の体って、細くても柔らかい。ナナさんの指は、ものすごく細い。この指が、これからいろんなところを這うのだと思うと、生唾が溢れそうになった。お風呂に入ったことであたたまり、だんだんと緊張が解けていく。

さあ、いよいよベッドイン！　優しい、つっぱむようなキス。至近距離で見ると美しさが倍増する。倍増していながらも、怖そうなイメージが和らぐ。

私は人の目を見るのが苦手なので、至近距離すぎると逆に目が合わせづらくなるので怖くなくなっただと思う。

唇めっちゃ柔らかい。ふにふにと、下唇をはむように、感触を楽しむようにつっぱむ。どこぞの男のように、舌を突然入れてくるようなそんな無料なこともない。

掛け布団のなかで、核心に迫るところ以外を触りながら、だんだんと首筋などにもキスされる。乳首にたどり着くまでが長い。だがそれがいい。

突然乳首なんて、風情がない。焦らし上手は最高である。

ナナさんの焦らしは、

「ああもう触ってー!」

てあせる感じでなく

「いつくるかな、ドキドキ」

みたいな、弱く優しい感じ。

乳首到着! 舌先でツン、ツンとついたりコロコロ転がしたり色々動かした後で

「ちよつと強めが好きみたい」

ってゆうてくれる。でも、待って。私男に舐められてる時、こんなソフトに舐められたことないぞ?! ってくら

いソフトなんやけど!!!!!!?

舌の筋力すら男女差があることを思い知る。全然強く感じないのに女の子的には強い方なんだなーと勉強になった。女の子同士って、あんまり声だしすぎると不自然かなーとか。気持ち良さを偽る必要もないんやしいつか! と思

って控えめ。

「あっ……気持ちいい……っ」

しつかり気持ちいいことは伝えていくよ! まあでも小声。だから、これを音声作品にすると、音小さすぎて何が行われてるのやら! って感じになつたと思う。

そう、男性向けには、誇大表現をしているのだよ、男性諸君。

お腹とか、腰骨のあたりとかも、優しくキスを落としてくれる。

あああああ、お腹周りの毛、ちゃんと処理できてなかったかも、と一瞬頭をよぎるが

「こんなに大切にキスしてくれる人が

そんなこと気にするわけがない」

とさつきとは打って変わってナナさんへの高評価っぷりが自分でも引くレベル。

内腿をチューってされたり、控えめにぺろぺろされる。ここでも柔らかい焦らし。

「ふふ、焦らされちゃってるね」

と嬉しそうなナナさん。くそ、笑うと榮●奈々に似てる。くそ。惚れてまうやろ。

あそこ付近を舐められるだけで、じわつと湿り気を帯びていたのだが、ピンク色の粒を舐められただけで、ちょっと潮を吹いてしまった。え、これ尿？ 大丈夫？？ とも頭をよぎるが

大丈夫。せつくす中の尿は潮！

とポジティブに捉えられるように。

それに、こんな優しい攻め方をしてくれる人が、そんな細かいこと言ってくるわけがない！（高評価に次ぐ高評価）両足の間から、私が腕枕する姿勢になって、指を入れてもらう。指ほっそ！

「ん、あ……ッ、は、あああッ」

中で蠢く。男の触り方と全然違うねー。ガシガシとピストンしてこない。入ってるのはわかるけど、中で何してる？ くらい。でも、気持ちいいとこを探してくれていたようで。

気持ちいいと目をつぶってしまう私が、ふと目を開けると

「ふふ、観察してるのバレた？」

と可愛く笑いながら、見つめられていた。

なんだよ！！！！ 最初の印象ど此行ったんだよ！！！！ 可愛い！！！！！！！！！！ 気持ちいい！！！！！！！！！！

「う、あ……ッ、ふ、うあッ」

しばらくくちゅくちゅくとあそこをいじってから、休憩。

これ、私も攻めた方がいいのだろうか。とも思いつながら、ベッドの中でおしゃべり。実は彼女、私と同じで歌をやっていた人で。いいボイストレーナーさんいない？ って話から、もともと声楽やつてたよって話までめっちゃ盛り上がって。

次は是非カラオケ行きたいね！！ ってなった。

そして、携帯が鳴り響く。あつ。これ私が攻めるパートとかやなくて、終わりが近づいてたからピロートークパートやったんや！

あぶねえ、がつつき系女子と思われるとこだった。携帯が鳴ったので、すぐシャワー行かなきゃいけないのかなと思って起き上がりかける私。

「大丈夫だよ、もうちょつとギョってしとこうね」

優しさが女神すぎない！？！？（判定が甘すぎない？！！！）

香水ではないと思うんだけど何かいい匂いがするし、髪の毛サラサラだし、顔が綺麗すぎるし、ついつい頭や顔を触ってしまいたいことになる。

でもダメよ、風俗の女の子の、顔や頭は汚い手で触ってはいけないって、ツイッターの人がゆうてた！ でもね、でもね、触りたくなる客の気持ちわかりすぎる！！！！ もちろん、化粧直しとか大変だから触られたくないっていう女の子の気持ちもわかる！ うう、苦しいジレンマ。

しばらく抱きしめ合ってから、ゆっくり起き上がる。手を引かれてお風呂に行く。ナナさんの髪の毛がサラサラすぎるので、どこのシャンプーを使ってるのか聞いてしまう私。あとで調べたらめっさ高級なシャンプーでした。わたすのような庶民には手が出せませぬwwww

帰りのお風呂は、石鹸もつけないでいつかーって感じで、湯船にチャポーン。最初のお風呂の時は不安でいっぱいだったけど。もう平気。いやもうむしろ次はどこに行こうか、とか考えてしまっている。

「このあと予定は？」って聞かれて

「某女性限定カフェいくー」

てゆうたら

「あー気になってんそこー！」

って言われて、また行きたい候補地が増える。カラオケと某カフェとプレイ行くってなると、いくらかかるんだろう、って家で調べ直しましたわよ！　そんなくらい、よかったー！！

プレイ時間はさすがに90分からお風呂、着替えとか色々引くと、30分くらいしかなかったかもやけど。それでも大満足でした。

女が本当に抱いて欲しいのは、体やなくて心なんよね。イくとかイかないとかやない。心が大切にされてるって感じたら、満足なんやよね。

ナナさんの、第一印象「冷たそう、怖い」と全然違って見える不思議。あーすごい。セックスってすごい。

実は好きな音楽が近かったり、本が好きだったり、アニメ見る人だったり、プレイが終わると、いいところばかりしか思い出せない。

不思議だなあ。ホテルの領収書もらい忘れたので、ホテル代は自腹です㍻

おてて繋いで、元いたカフェの前に戻りました。行きとは全然違う気持ち。

ていうか、腰痛いのなくなってる！！！！　やばい、癒し効果ヤバイ！！　マッサージとか受けてへんのに！

湿布は最初のお風呂の時に剥がしてもらったのに！！！！なぜだ！！！！
いやー！！！！次どうしよう、ほんと。カラオケも行きたいし。プレイも長めにしたいし。バイトとか頑張ってみよ
かな。

というわけで。1回目のプレイはこんな感じでした。90分エッチなコース、ナナさんのレポートでした。

レズビアン向け風俗行ってみたレポ 2 回目

3月某日。

私はまたあの喫茶店にいた。そう、また彼女に会いに来たのだ。ナナさんに。

朝7時に

「今日はよろしくお願いします」

とお店にメールした。抜かりない。

洗濯と洗い物も済ませ、家を出た。抜かりない。

9時半にきつちり喫茶店についた。抜かりなさすぎて怖い。

前と同じのトイレに近い一番奥の席に座る。2回目の服装は、グレーのパーカーにベージュのスカート、パークーの下にはグリーンのトップスを着て、黒いバレエシューズを履いている。

花粉がひどく、カラオケに行けそうになかったので、120分 男子禁制のカフェに行くのと、120分プレイをする計画だ。

電車の中で、カフェの営業時間を見てショックを受けた。なんと12時から開店なのだ。抜かりなさすぎ、というのは完全にフラグであった。

私としては、まずカフェでキャッキャウフフとおしゃべりしてから、ホテルに行きたかったのだが。それは仕方がない。

前回緊張のあまり、4ページほど不安を書きなぐった。その不安が記された、マイノートには、今回は半ページだけ記入があった。

カフェの開店時間を確認していなかったこと

洗濯と洗う物をする心の余裕があったこと

22…30に寝て6…00に起きたこと

つまり前回はそれ以上に眠れていなかったということか。

攻めたいけどちゃんとできるか、という不安

前回に比べて不安の数が少なめであった。よかった。

10時。喫茶店の外に出る。少し肌寒いが、コートを着るほどではない。曇り空、私の住んでいる場所では雨は降らないといっていたが、この町はどうだろう。

すぐにマスクを着用した、ナナさんに会えた。笑顔がマスクを着けていても眩しい。黒のダウンコートにベージュのスカート、黒いタイツに青色のソックス。相変わらず綺麗な人である。

きつと寒がりなんだろう、春先は着るものに困るよねと話した。手を繋いで歩き出す。

前も思ったが歩くのが早い。だが、前と違って今日は手を繋いでいるので私も引張られるようにぐんぐん進める。歩くの早いと移動時間が短くていいな、と思いながら近況報告。

私が仕事を辞めることや、最近読んだ本などパツパツと話題が展開していく。こういうスピード感も必要なんやろうな。私なんかは、頭の回転が早くないので、ついていくのに精一杯だが、制限時間のある中で、ゆったりしたペースでは、仲良くなりづらいのだろう。

12時開店のカフェに近い方のラブホテルに入る。ラブホテルに入るときに

「歩くの早くなかった？」

と言われ、笑いそうになるがこらえた。

「うん、大丈夫」

足早い自覚あるんだなあ。ゆっくり歩くとお客さんから時間稼ぎと思われるだろうか。ホテルに入ると、使い捨てじゃないスリッパに履き替える。会員カードを提示すると無料のドリンクをくれるラブホなので、ナナさんが会員カードを用意してくれている。

こういうの、嬉しい。良いサービスだと思う。仕事の話や、今後の話など、いろいろ話しているうちに飲み物が届く。気になっていた、「女性にもアレ（しんどい系）なお客様はいるのか」、という話題でちよつと盛り上がる。いるかないかというらしい。

他の客との待ち合わせ時間に合わせて、待ち合わせ場所のカフェにいるストーカーチックな女性。

「私は何番目なの？」とせまってくる女性。

「仕事を辞めたら付き合ってくれるの？」と言ってくる女性。

男性とは違って、明文化されたルールは守るけれど、遠回しに違反行為ギリギリをすり抜けてくるらしい。男性は「本番やらして」とか直接来るらしいから、男女違いがあるんだねーとか、2回目会ったにしては、やけに親密な話をした気分だった。

歯磨きをしてからお風呂。歯磨きは、今回は歯磨き粉を付けた歯ブラシを、無事受け取ることができた。一緒に並んで歯磨きしていると、なんだか嬉しい気分になってニヤニヤしてしまう。テンポ早めの会話にも慣れてきたけど、このまま喋り続けてしまいそうだ。

ナナさんは今回、入浴剤を二種類、ポーチに入れて持ってきてくれていた。泡の出る、ヒアルロン酸入りのものを選ぶ。泡風呂って楽しいけど、自宅ではないやん？ 私は、ラブホくらいでしかしたことがない。久々の泡風呂が、

とても楽しみだった。

最近のラブホはマットがあったり、ローションが置いてあったり、ソープごっこができそうだ。やり方わからんからやらんけど。

照明は付けずに、脱衣所の明かりだけでシャワーを浴びる。自分で洗わないと気が済まない下の方は、ナナさんがやさしく洗ってくれた後に、ゴシゴシと自分で洗う。

毛の処理の話なども聞いてみたかったので聞いてみると、ナナさんはエステの脱毛を受けたらしい。クリニクの脱毛じゃないと、効果がないのかと思っていたので、私にも手を出せそうで嬉しくなった。

湯船に入って泡泡をかけ合う。楽しい。

お風呂でぎゅっとハグして

キスして。

口の中に、ナナさんの味が広がる。タバコの匂いも、コーヒーの匂いもしない。歯磨き粉の香りに混じったナナさん自身女の子の香り。

お、なんだか良い雰囲気になってきたぞ。キスしてから照れたように笑うナナさんが、本当に可愛い。クールな印象と頭がキれる感じがあるのに、笑顔がめっちゃ可愛いので、反則だと思う。

「いつもお風呂に入れてあげる介護職やから拭かれるの不思議」

って言って笑いあった。

ふわふわのタオルでふわっと拭かれる。大切に扱われている感じがする。使い捨てのスリッパに履き替えて、ベッドへ。裸足で、誰かが使ったスリッパを履かせたくない、という気持ちが伝わってきて、より一層大切にされていると感じた。

無料のミネラルウォーターを探してくれるナナさん。そうなの、私、ウェルカムドリンクでホットコーヒーを頼んで、飲み干してしまつて、喉が乾いてきたの。

「ゴロンとして良いよー」

と言われたのだが、なんとなくベッドの端に座っていた私。戻ってきたナナさんが、頭をポフポフ撫でてくれた。「ゴロンとしてよかったのに。可愛いなあ」

その笑顔が可愛い。あなたの方が百万倍可愛い。

チュッチュと、座ったまま、キスの雨を降らす。ナナさんの白くて、すべすべな、柔らかい肌の感触。

「あれ、これは私が攻めて良い感じなんだろうか？」

と思い、私が押し倒す形でキスしてみる。

あ、これあかん。上から見たらめっちゃ可愛い。花粉症の涙目と、見上げる目線と、笑顔を見てたら、ずっと見ていられる。

舌を出して、ぺろぺろと舐めあう。嫌いだったディープキスも、女の子同士なら、汚くない気がする。音を立てて吸われると、びくん、びくん、と腰がはねてしまう。

押し倒しておいてアレなのだが、腕がプルプルする。弱い。腕の力が圧倒的に弱い。みごとにへこんだ鎖骨あたりから、たいらですつきりとしたお腹まで、チュッチュ、とキスしまくる。いや「むちゅつ」という感じだ。

吸い付くような肌。小さくナナさんの吐息が漏れる。激しく萌える。

ぎこちなく、尖った先端に到達するとあえぎ声が大きくなる。

「んんっ、ああっ……ちいちゃん、気持ち、いい……っ！」

形の良い、その尖をつんつんと舐め、刺激する。一際大きくなるあえぎ声。わたしの子宮も、ずくと熱くなる。

「痛くない？」

と聴きながら、こわごわナナさんの乳首を舐める。ちろちろと舌を這わせる。

そう、ここなのだ。攻めるの怖いのだ。ついこわごわやってしまう癖がある。

痛かったらどうしよう、と思ってしまう。でも痛そう感じもしないので、もう片方の乳首へキスしながらゆつくりと移動する。ナナさんの乳首は、小ぶりながらも、きれいな形をしていて、少なめな乳房でも感度が良さそうに見える。

「下も舐めて良い？」

と聞くと

恥ずかしそうに

「…うん」

って可愛いかなー！！！！ となりながら、もぞもぞと脚の間に移動する。

整えられた茂みを見つめながら、内腿や膝あたりまで、キスしながら移動する。どこの肌も健やかで、なめらかだ。さあ、たどり着いた。とうとうたどり着いた。

おまんこ様です。ご開帳ー！ クンニするのはめっちゃめっちゃ久しぶり。しかも位置どりが悪かったのか、クリトリスあたりしか舐められない。自分の下手くそ加減にイラつきながら舐める。しょっぱいような、酸っぱいような、絶妙な味。食べ物では味わったことのない味がする。美味しいとも言えないが、淫靡な味だ。

遠慮がちにべろべろ舐めていると、艶めいた喘ぎ声を出してくれる。

「ひ、ああ……っあ…あんツ！」

しかし、クリトリス一箇所しか舐められないことや、不慣れによる体勢の不自然さもありとても疲れてきた。疲れ

がにじみ出ていたのかナナさんが

「疲れたでしょ、交代♪」

と言ってくれる。エスパーク。エスパークナナか。

苦笑しながら、交代する。やっぱプロは違うよなあ。キスしながら、目が合うとにつこり笑ってくれる。余裕が見えるし、なんだかやっぱりスムーズ。乳首の舐め方も、私が強め好きと覚えていてくれたのか、的確で、めっちゃ気持ちいい。先端を刺激されるごとに、びきつと電気が脳に流れていく感じがする。

こんな美女にご奉仕してもらえるなんて、と、ニヤニヤが止まらない。でも恥ずかしくて顔が時々しか見れない。下に到達して、プロのクンニ。

「う、ああ、あつ、それ、だめえっ……っ！ひ、あんっう」

的確すぎる攻撃に、喘ぎ声が止まらない私。ほんと上手。これで、研修や講習がなかったと言つてのけるナナさんまじりスペクト。

私だったらアワアワして終わりだわ。長い指も入れてクチュクチュと、あそこの中をいじりだす。途中から、潮を吹きまくって

「え、なにこれ、めっちゃ噴いてるよ」

とか言いながら、手をとめないナナさん。水音が大きくなり、恥ずかしい。

「うっう、ん、んあ、つあう……っ、はあ……っああー」

かなり広範囲をくじらさんごっこで濡らしてしまう私。

恥ずかしい。

恥ずかしい。

恥ずかしい。

こんなに噴いたこと今までない。いい感じになったところで、多分もうすぐシャワーを浴びる時間になったのだろう。攻めを終えて腕枕をしてくれるナナさん。

時間の感覚がすごい。私だったら絶対わからない。すごい。

今回も、前回も、やることは同じようなことだったけど、ちょっとだけ攻めれて嬉しかった。

電マは気持ちいいけど激しいと辛い話とかピロートークした。しばらくキスしたりイチャイチャしていたら、爆音で鳴るナナさんの携帯！ 何事かと思えば、カフェに移動するのにちよいどいいタイミングで鳴らそうとした、アラームがたまたま爆音だったらしい。

「ムード台無しだね、ごめんね」

と謝ってくれる。ええんよ、と笑ってお風呂へ。

エッチの後のシャワーは割とさっぱりする派というか、あんまり洗わない派なので、サクッと終わる。

あんまゴシゴシ洗い合うのもなんだかな、って感じしない？

次の目的地、某カフェは私も数回しか行ったことがなくて、道がわからないので地図を見ながら二人で探した。

途中ナナさんが地面につまづいて転びそうになったりしながら、二人で手を恋人繋ぎして歩いた。

楽しい。

デンジャラス。

楽しい。

カフェは、受付が混んでいた。ちょっと待ってから会員登録を済ませる。会員登録には保険証が必要なので、持ってきてもらっていた。だが、見るのは個人情報的にアレなので、私はずっと、ナナさんを後ろにしてそっぽ向いていた。

友達と来たはずなのに、友達からそっぽ向いて立つてる変な人に見えたと思う。カフェに入って、二人並んで座れる席に座る。

このカフェは伝票を必ず本人が持つて、カウンターに行き、飲み物や食べ物を注文するシステムだ。それを忘れていた私は、

「食べ物注文してくるね」

と氣を利かせてくれたナナさんと共に、店員さんにちょっと怒られてしまう。

「番号が入れ違つてしまうと困りますので

必ずご本人がお越しくださいっ」

と割ときつめに言われる。

（なんだこの店員、塩対応だな。）

と心の中でイラつとしながら、

ナナさんと

「はーいすみませんー」

と大人対応をする。

席に戻ってから

「そんな怒らんでもいいのにね」

と小声で話す。

こういう秘密の会話が楽しい。一気に仲良くなった気分になる。

飲み物がきた。

一息ついてから

「オススメの漫画お互い持つてこよ」

と言って、壁一面に並んだ漫画からオススメ漫画を選ぶ。私は聖お兄さんと荒川アンダーザブリッジとラブホの上野さんを選んだ。

ナナさんはイノサンという、フランス革命時代の処刑人の話という、繊細で耽美な感じの漫画を持つてきはった。ちらつと中を見てみると

「おっと、これ割とグロいぞ、大丈夫か。」

ってなる。私は大丈夫だけどちょっとびっくり。こういうのも読むんだなあ。

一緒に昼食のパスタを、並んで食べる。

「猫舌って言うけど猫手って言わないよね」

と私が言うと

「そうやね、でも私猫手かも。今度から使お」

とのつてくれる。パスタをふうふうしながら食べる様子が可愛い、唇を尖らせて、一生懸命な様子が、エッチの時には見られなかった表情でまた嬉しくなる。

折に触れて

「このカフェすごくいいね」

とか

「隠れ家にいるって今度からブログに書いたらここにいてことにしてな」

とか秘密の共有をしてくれる。いたずらっぽい笑みがとてもキュートで、「やっぱり先にカフェに來たかったなあ」と思う。

またしたくなってしまったからだ。

そして、イノサンにのめり込む私。いちいち耽美な漫画で、エロティックだ。それに比べて私のチョイスといったら。普通に男友達に貸す本をチョイスした風である。そういうとこだぞ、ちゆき。そういうとこ、色気がなさすぎるぞ。それでも、荒川やラブホの上野さんを読みながら、くすくす笑ってくれるナナさん。いい子だなあ、ほんとに。

そして、イノサンを90分で3冊読みふけてしまう私。もう終わりの時間14時が近づいている。120分のデートコースでほとんど漫画読んでたっていう。何かネタになりそうなことはないのか、ないな！と言う感じで退室。帰る電車の駅まで送ってもらう。

「お互い頑張ろうね」と励ましあって別れた。

めっちゃ疲れるからデートコースはデートコースで楽しみたいな。エッチなコースもエッチなコースのみの日が欲しいな。人と密着するのって疲れるな。でも楽しいし癒されたな。不思議だあ。ナナさんの笑顔が、キラキラと記憶に焼き付いていて次は是非カラオケに、電マ使わないカラオケに行きたいと思った。

それから数ヶ月後、ナナさんはお店のホームページからいなくなってしまった。連絡先を交換しておけばよかった。推しは押せる時に推そう。いなくなってからでは遅いのだ。また会いたいけど、多分会えない。短い間だったけど二回も私と会ってくれてありがとうナナさん。

以上！

おわりに

綾川ちゆきのレズビアン風俗レポ、いかがだったでしょうか。

原稿はもうすでに9月中旬に完成していたのですが
改稿を重ねてもうすでに10月中旬に入りました。

毎日毎日音読しながら

「この表現わかりづらいな…」

「ここ絶対囁むから文章自体を変えよう……」

とかやってきました。

明日、2019年10月17日、第一回を収録しようと考えてます。

バイノーラルマイク使って、ASMRっぽく録ろうと思ってる、うまくいくかわからないので
収録予備日が4日あります。(念入りすぎるwww)

明日はきつと失敗することでしょう。

でも、失敗も経験値ってことで、頑張ろうと思います。

NG集として作品に入れちゃってもいいしね！

レズビアン向け風俗に行つて、綾川ちゆきは何が変わったのでしょうか？

チキンなどところ、ヘタレなどところは何も変わってないです。

今後レズビアン向け風俗に行つても、ノートに不安を書きなぐるだろうし、

何か成長したとしたら、女性の体についての文章での表現力がちよつと上がったんじゃないかなーって部分なんじゃないかと思います。

あと、推しは推せる時に推さないとだめだということが、よくわかりました。そこは大きな学びでした。

今後、セクシーネット声優を支援するプロデューサーとして、どう生かされていくのでしょうかね。プロデューサー声優さんと今LINEでやり取りして、収録できるように手配してます。うまく行つて、作品が出せるといいなあゝと思っております。

それでは！ 読んでくださつてありがとうございました。

2019年12月8日

綾川ちゆき

セクシーネット声優プロデューサー活動について

綾川ちゆきは、三年間実演音声作品に出演していました。売り上げが2018年12月時点ではナンバーワンでした。色々なサークル様から作品を出させてもらったので、どんな作品が良い実演音声か、ということに研究しています。

実演音声作品を出しているサークルさんのお手伝いをさせていただいたこともあります。音声を聞かせてもらい、それに対してアドバイスをさせてもらいました。

お気軽に

「うちの実演サークルって何か付け足すとしたら何がいい？」

「声優さんにどうやって演技指導したらいい？」

「実演サークルやってみたいけど、何から始めたらいい？」

など実演音声について何かございましたら、ご相談ください。

セクシーネット声優さん募集

改めまして、みよつての綾川ちゆきです。

セクシーネット声優を募集してます。

セクシーネット声優とは、自慰行為を實際にしながら収録する音声作品（実演音声）に出演する演者さんのことを言います。

私は、セクシーネット声優として三年間活動しました。

他の女の子の自慰行為を聞いてみたい、という思いがあつて実演音声作品のサークル「みよつて」を作りました。

セクシーネット声優のメリット

- ・人に見られない
- ・自宅できる
- ・既婚でもOK
- ・自慰行為の声を録音するだけなのに一回の出演で3諭吉くらいはもらえる
- ・風俗やチャットレディとは違ふのに高収入
- ・年齢や体型が一切関係なく出演できる
- ・出演作100本ごとにボーナスが出る
- ・声だけだから身バレすることがない

- ・女の子らしくモテる喋り方がわかる

- ・可愛い自画像をイラストレーターさんに描いてもらえる

- ・無料でオイルトリートメントが受けれる（綾川の本職がマッサージ屋）

デメリット

- ・ネット声優としてやっていく場合、実演をしていたことがわかれると採用が減る可能性

- ・完全初心者でも出演OK

デメリットへの対策

ネット声優としてやっていく場合、違う名前で活動すると問題ありません。

実際、有名ネット声優が実演をやっているケースがあります。

特典など

- ・3年間活動、売り上げナンバーワンのセクシーネット声優綾川ちゆきが優しく「売れる方法」お伝えします（レッスンもOK）

- ・録音機材レンタルあり（出演作品本数4本以上で録音機材1万円相当をプレゼント）

- ・100本売れることにボーナス

- ・大人のおもちゃ代、ラブホテル代、おかず代など経費は全額支給（要領収書）

・SNS（主にツイッター）を運用してくれる方には、別途手当あり
・レビューキャンペーン（レビューを書いってくれた人の名前を呼びながらエッチなセリフを言う）別途手当あり（台本あり）

出演者様には、一度綾川ちゆきに会っていただく必要があります。

また、身分証明書のご提示が必要となっております。（運転免許証、住民基本台帳カードなどの顔写真付きのもの）ご紹介の場合は、ご紹介者様抜きで綾川ちゆきと二人きりになる時間を作っていただきます。
拘束時間は、半日〜1日ほどですが、休憩を入れます。

普段のお仕事にちよつと上乘せして

ちよつとだけリッチな暮らしをしてみませんか？

風俗にひきずりこんだり、どっかに売り飛ばしたりしません。

あ、もちろん基本的には、あなたから何か支払ってもらうことは一切ありません。

「レッスン代」とか「講義代」とか必要ありませんのでご安心ください。

ご興味のあるあなたと、お茶してお話だけでもしてみたいです。

ciyuki_ayakawa@yahoo.co.jp

ご連絡、お待ちしております。

スマホを持っていない方用

百合りあんと。百合風俗体験記

本編





レビューキャンペーンについて

発売日から2週間以内に、DLsiteかFANZAにてレビューをくださった方に電動マッサージ機をどこかに当てた「百合りあん」と本編朗読をプレゼントします。

レビューを書いた旨を書き、cyuki_ayakawa@yahoo.co.jpまでメールお願いいたします。

タイトルは「レビューキャンペーン、投稿名、ペンネーム」でお願いいたします。

基本的に12/15 24:00必着ですが、レビューの掲載が間に合わない場合は、メールでお知らせください。